

# 「まちづくりの健康診断」について

- 都市を取り巻く社会情勢は複雑化しており、市町村においては、客観的なデータに基づく都市計画や計画に基づく施策の評価を継続的に行うことが重要。
- 「まちづくりの健康診断」では、国が目標値等の市町村の計画情報や指標の変化状況等を全国一律に整理し、客観的な経年変化データを市町村に提示することで市町村の分析をサポートし、市町村における立地適正化計画の評価・見直し等を促進する。
- 具体的には、国が市町村ごとの取組施策や都市状況等をとりまとめ、参考方策や広域連携に関する情報等を提示し、市町村の地域特性を踏まえながら適切な評価を促す。

## 基礎情報

- 計画作成・見直し状況の整理
- 都市計画区域・線引き・非線引きの状況の整理
- 市街化区域等人口状況の整理
- 国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計データ
- 将来人口推計と目標人口の関係 等

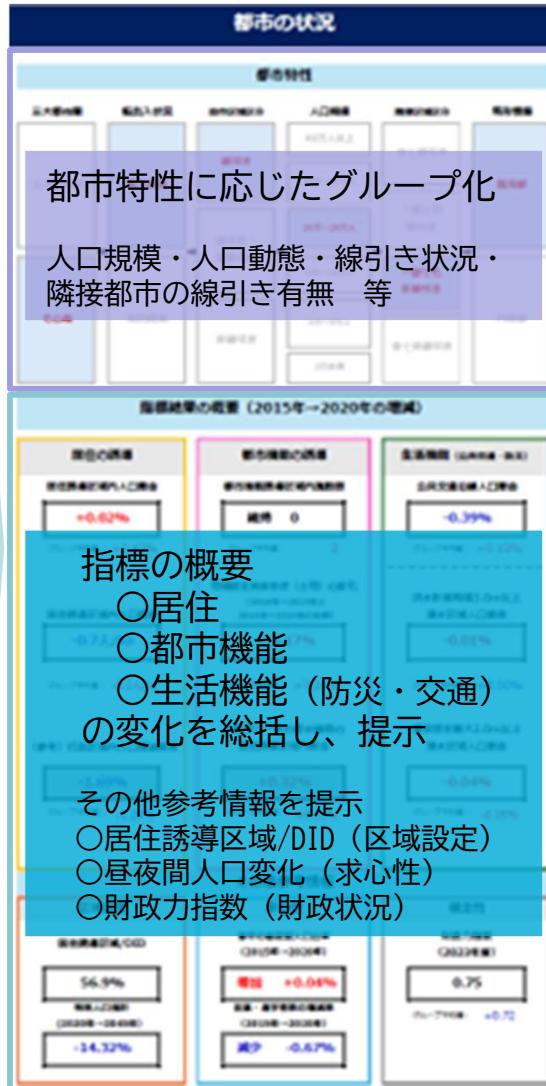
## 分野別の客観指標の状況

直接指標①	居住誘導区域内人口割合
補足指標①-1	過去トレンドとの比較
補足指標①-2	居住誘導区域内人口密度
確認情報①-3	メッシュ別人口増減変化
直接指標②	都市機能誘導区域内誘導施設割合
補足指標②-1	一定の都市機能の都市機能誘導区域内割合
補足指標②-2	一定の都市機能の居住誘導区域内割合
間接指標①	公共交通沿線人口割合【公共交通】
間接指標②	災害リスク高エリア人口割合【防災】
間接指標②-1	浸水想定区域(洪水)計画規模 (L1) 浸水深0.5m以上
間接指標②-2	浸水想定区域(洪水) 計画規模 (L1) 浸水深3.0m以上
間接指標②-3	浸水想定区域(洪水)想定最大規模 (L2) 浸水深3.0m以上
間接指標②-4	浸水想定区域(津波)想定最大規模 (L2) 浸水深2.0m以上
間接指標③	居住誘導区域内外建物新築傾向(新築指数)【土地利用】
間接指標④-1	地価固定資産税収(土地)の変化【財政】
間接指標④-2	一人当たり歳出額【財政】

## 取組情報

- 誘導施策の実施状況(誘導支援策や誘導施設整備、交通結節機能整備等)
- 都市計画制度の積極的な活用状況(市街化区域の見直し、居住調整地域の指定等)
- 他計画との連携状況(総合計画、地域公共交通計画、流域水害対策計画等)
- 防災施策の実施状況(防災指針、分析の状況、ハード・ソフト対応策の状況等)

## データ情報を総括



- 参考方策・事例の提示
  - 居住の取組施策
  - 都市機能の取組施策
  - 生活機能の取組施策 (防災・交通)

- 広域情報の提示
  - 都市間の人流状況



- 都道府県が管区内診断状況を把握



- 都道府県・市町村の都市行政の気づきへ



- 必要に応じて詳細分析各種計画の見直し  
施策の評価・立案  
広域連携の検討へ

